

各論において方向性を示した施設

施設名	方向性	今後の検討内容
総合市民会館	存続	耐震改修・施設改修
総合体育館	存続	耐震改修
図書館	存続	耐震改修・施設改修を検討
大竹会館	旧館	廃止
	新館	存続
	アゼリアホール(講堂)	存続
小方公民館	研修室部分	廃止
	体育館	廃止

社会教育施設等の再編基本方針の各論は市広報10月号で紹介してるよ!



### 3 大竹会館



旧館の利用団体の皆さんには意向を聞かせていただきます。



**旧館は廃止**

大竹会館(旧館)は、昭和38年に建築し、既に52年が経過した建物です。活用可能期間を60年と考えると今後耐震補強などの改修工事をして、活用できる年数はそう長くはありません。稼働率が2割に届かないこと、新館やアゼリアホールの部屋も利用できること、また近くにコミュニティサロンや総合市民会館があることから旧館は廃止の方向性を出しました。

**新館は改修**

新館には他の施設にはない懇親会もできる会議場の機能があります。またアゼリアホールと一体の施設として利用し、イベントを開催することもできます。旧館の解体や、今後の施設の利用方法をふまえた改修が必要と考えています。

**アゼリアホール(講堂)は存続**

アゼリアホールは、市内で唯一の体育館兼劇場型ホールです。平成2年に建築された比較的新しい施設です。存続の方向ですが、25年が経過し改修時期が近づいています。

**改修計画の検討へ**

旧館の解体、その後の新館とアゼリアホールとの一体使用などを総合的に考えた改修計画は来年度から検討に入ります。

### 4 社会教育施設の今後

他の社会教育施設等は、「当面存続」としています。これは施設の活用可能期間と定めた60年を経過するまでは、できるだけ有効に活用したいと考えているからです。

しかし、施設は使われていないときにも費用がかかります。人口が減少を続ける現状を考えると、稼働率が非常に低い施設を維持し続けることは一人ひとりの負担が増えることを意味しますので、難しくなります。

「当面存続」の施設も今回の再編の進み具合や人口の動向、利用状況などを見ながら、今後、どうしていくのか考えていきます。

社会教育施設の再編は今後も続いていくんだね。



### 編集後記



見えにくい問題を、一緒に考えてきた公共施設マネジメントは、今回で終了だよ。

また、新しい動きがあった時には、お知らせするね。

これまでの記事「シリーズいっしょに考えよう」は市ホームページにまとめてあるよ。

市政チャンネルから入って「総合計画・総合戦略・行財政改革」のボタンをクリックしてね。

## 社会教育施設等の再編基本方針

私たちがスポーツ活動や、文化活動に利用している社会教育施設等の再編について、コイちゃんと一緒に話を進めてきました。今月号は、社会教育施設等の再編基本方針(各論)で、方向性を出している総合市民会館・総合体育館・図書館・小方公民館・大竹会館の動向を詳しく見ていきます。

いっしょに



公共施設マネジメント

問い合わせ  
企画財政課 ☎2125

### 1 総合市民会館・総合体育館・図書館



**拠点施設として存続**

本市で最も規模が大きく機能が充実しています。さらに機能を集約し、いろいろな利用ができるようにしながら、できるだけ長く活用したい施設です。そのため、総合市民会館・総合体育館・図書館は、本市の社会教育施設の「拠点施設」と位置付け、存続します。

**改修計画を策定**

これらの施設も改修時期を迎えています。総合市民会館は設置目的が異なる複数の施設を組み合わせ整備しています。そのため、同じ機能を持つ部屋が複数あり、稼働率が低くなっています。(8月号で紹介)

施設の設置目的に捉われず、市全体を見て必要な機能と規模を考えた改修計画を平成30年度までに策定します。

### 2 小方公民館

**早急に方向性を出す施設**

小方公民館は、敷地の一部が岩国大竹道路の事業用地にあたるという特殊事情がある施設です。

平成28年度中には事業用地が買収されるため、早急に方向性を決める必要があります。

そもそも社会教育施設等の再編は、人口が減少するなか、今後、全ての施設をこのままの規模で維持するのは難しいということから始まっています。

本市には13もの社会教育施設等が、半径3kmほどの円内に収まる沿岸部に設置されています。(2月号で紹介)

それぞれの施設の機能を集約しながら全体としては徐々に規模を縮小していこうということが基本方針です。この考えから、拠点施設と周辺施設が連携することにより機能を補うことができると考え、規模を縮小することを決定しました。(10月号で紹介)

**体育館(大ホール)部分は解体**

一部が岩国大竹道路の事業用地にあたる体育館部分は、平成28年度中には解体します。使用期限などの詳細は、改めて、市広報などでお知らせします。

現在、小方公民館の体育館を利用している方には、今後もスポーツを楽しんでもらいたいと考えており、近くにある旧小方中学校体育館や小方学園、また晴海臨海公園や、総合体育館などの利用をお願いしたいと思います。

**研修室部分は機能変更**

研修室部分の建物は残りますが、体育館と一体の建物となっているため体育館の解体と合わせて一部改修工事が必要となります。

建物はまだ活用できますが、2割に届かない稼働率と同じ小方地域に拠点施設である総合市民会館があることも考えながら、どの機能がどれだけ必要かを見極める必要があります。

改修にあたっては今後どのように管理するかも含め検討を進めます。機能変更により、部屋の形態や規模が変わり、これまでと全く同じ使い方ができなくなる可能性もあります。今後、施設を利用されている方への説明を進めていきます。



体育館の利用団体の皆さんには個別に意向を聞かせていただきます。

